

令和5年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(公民科) 科目：(政治経済) 対象：(第 3 学年 A 組～ E 組)

科目担当者：(A 組：印) (B 組：印) (C 組：印) (D 組：印) (E 組：印) (F 組：印)

教科・科目の 指導目標	<p>1 広い視野に立って、民主主義・資本主義の本質に関する理解を深めさせる。</p> <p>2 現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させる。</p> <p>3 現代の政治、経済、国際関係などに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>
----------------	--

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1 公民的分野における基礎的・基本的な知識が定着していない生徒がほとんどであった。</p> <p>2 地図やグラフなど諸資料を読み解いたり、活用することができない。</p> <p>3 社会への興味関心が薄く、ニュースや世論の動きを知らない生徒がほとんどであった。</p> <p>4 社会課題に対して、意見や考えがない当事者意識の希薄な生徒が多い。</p>	<p>1 政治・経済における基礎的・基本的な知識の定着を図る。</p> <p>2 諸資料を活用し、考察する学習活動を取り入れることで、資料を読み取り活用する能力を向上させる。</p> <p>3 政治経済における現代の諸課題に関する諸資料を収集し、多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現する力を身に付けさせる。</p> <p>4 社会課題をできるだけ身近な視点から捉え、自分事として考えてみよう意識を持たせる。また、生徒同士でも意見を交わす機会を多くすることで再考・熟考する習慣を身に付けさせる。</p>	<p>1 苦手意識をもつ生徒に対し、基礎的なレベルの発問を行うことで、知識の定着を図る。</p> <p>2 ノートやワークシートの提出によって、学習習慣の定着を図る。</p> <p>3 調べ学習を多く取り入れ、興味関心をもって学ぶ方法の学習を図る。</p> <p>4 話しやすいテーマを設定し、生徒同士が意見を交える機会を増やす。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			